

ホームページの活用

2014年1月24日 井田晃記

課題：学生支援掲示板の活性化をするには

○現状：いままでのところ情報は有志会員から掲示板へ提供されるものの、これを見た者の反応は鈍いといえる。すなわち、実際に学生がどれほどアクセスしたかどうか、あるいは利用したかはわからず、またその他会員がこの掲示板にアクセスしたとしても一見するだけであって学生支援の反応は期待できない。したがって、以上のような掲示板のありようでは学生支援の効果は限られたものであると云わざるをえない。

そこで、この掲示板にアクセスした会員が学生支援の気持ちを惹起するような形も考える必要がある。

○改善策：学生がもっとも関心ある話題は「就職」であり一方会員の多くは社会に出、就職するなどし種々経験を積んでおり、学生の関心に応えることが出来る可能性があると言える。

そこで、就活支援を柱に、支援希望学生の自身に関する情報を掲示板に載せておくことで、之を見た会員からの支援協力を引きだす可能性を高めようとするものである。

I. 会員→学生支援掲示板

I-1. (現状) 情報の提供 (1方向)

1) 一般情報

2) 就活情報 (書籍・新聞記事・ウェブ情報)

「就職」は会員と
学生の共通話題

情報提供は、あくまでも
学生の希望・自主的判断
によるものとする

II. 学生(就活学生)→事務局→学生支援掲示板

就職活動中の学生の提供情報例(事務局が管理)

会員への提供情報例(1, 2は必須、他はHP上公開選択)		可	否
1	氏名・出身地	—	—
2	所属学科	—	—
3	得意科目		
4	研究活動		
5	自己PR, 就職して何がしたいのか		
6	希望業界または希望会社は		
7	就職希望地		
8	信条		
9	趣味、読書傾向		
10	希望業界の話が聞きたい・事務局に先輩を紹介して欲しい		
11	連絡先：電話、携帯、メール		

Ⅲ. 学生→会員

掲示板を通して、投稿情報への感想・疑問・質問など。

IV. 学生→事務局

依頼：たとえば、業界情報を確認するための先輩会員への紹介依頼。

懇談会開催要望。

企画の提案。

V. 事務局

上表の学生情報の管理。必要に応じ、面会希望学生と会員の仲介

掲示板の存在を「会員」「学生」に周知する。

自発的投稿を呼び掛ける。

投稿を依頼する。

企画テーマで投稿を呼び掛ける。

活性化のための企画の募集をする。

掲示板を活性化することを目的とする委員会を設立したかどうかという提案であって、それが理事会+ α であっても構わない。

毎回の集りに、掲示板の利用や投稿状況を報告するようにし、現状認識を共有することが大切である。

VI. 企画の検討

掲示板企画委員会(*)の組織化、たとえば、

幹事長理事、

ホームページ担当理事、

学生担当理事、

委嘱委員（年度幹事、連絡員、学生：竹間さん）

その他

2、3カ月に1度、開催しこの間の投稿状態把握の上、改善策を検討する。

*) 企画の検討部門を設けることで、有志以外の会員からのより多くの掲示板への投稿・活用を促すための仕組みを作ろうとするものである。

投稿テーマの例、たとえば

- ・年頭所感
- ・今年の目標
- ・今年を振り返って
- ・想い出（学生時代の～ ○○大会の～ 合宿の～
 ○○さんの～ 大学祭の～ ）
- ・学生時代の写真と説明
- ・私と弓道
- ・弓道を始めたきっかけ
- ・弓道で得たもの
- ・私の趣味
- ・マイブーム
- ・座右の銘
- ・私の就職活動
- ・私の職業遍歴
- ・私の近況
- ・私の健康法
- ・旅行記
- ・紹介したい本
- ・HP（含運営）への意見感想
- ・不用品差し上げます 等々

千葉工大弓友会HPにおける「掲示板」を活性化するには

2014年1月11日 井田晃記

